

学習者主体の授業へと日々進化し続ける塩山南小！「とにかくやってみる」「試行錯誤」でチャレンジ！



Q	R	S	T	U	V	W	X
P56-57	自分課題	P58-59	自分課題	P	自分課題	P62-63	自分課題
⑨店におかれている商品はどこからきているのだろう。		なぜスーパーマーケットはこんなにもたくさんのお客を呼んでいるのだろう。		お客を呼ぶために何をすればいいかな？		スーパーマーケット以外の店について調べよう。	
1時間の計画（どの課題から、どんな方法で学習するか など）か逆のせってい		1時間の計画（どの課題から、どんな方法で学習するか など）か逆のせってい		1時間の計画（どの課題から、どんな方法で学習するか など）か逆のせってい		1時間の計画（どの課題から、どんな方法で学習するか など）か逆のせってい	
店の商品はどこからきているのだろう？		なぜこんなにもたくさんお客を呼んでいるのかな？		お客をもっとよきお客にするにはどうすればいいかな？		スーパーマーケット以外の店はどうなっているのかな？	
じょうほうのしゅうしゅう		じょうほうのしゅうしゅう		じょうほうのしゅうしゅう		じょうほうのしゅうしゅう	
ちらしやスライドの写真から産地を見つけてせき		教材P58-59 お客の人からのインタビュー		グループで意見を出し合おう。		教科書p62-63 スライド	
整理ふんせき		整理ふんせき		整理ふんせき		整理ふんせき	
地図に書きこもう。		くふうとその理由をつけよう。		4つのかん点をまとめよう。			

ゴールであるルーブリックを児童と確認！児童はそれに向かって進んでいく。本時の流れも児童が確認。

3年1組 音楽

【0912】よびかけとこたえを生かして、お話しするように歌おう。

竹川美和・昨日

【めあて】よびかけとこたえを生かして、お話しするように歌おう。

【ルーブリック】
B：だれがよびかけて、だれがこたえているか、思いをもって歌うことができる。
A：だれがよびかけて、だれがこたえているか思いをもち、どのように歌うか考えて歌うことができる。

【流れ】
1【かだいを決める】
ルーブリックを決める。今日のじょうほうで、どこまでできたらいいかB-Aから1つえらぼう。えらんだルーブリックをふりかざりシートに「じょうほう前ルーブリック」に入れよう。

2【学習の計画】
今日の授業の【流れ】を読んで、どんなことをするのか確認しよう。

3【じょうほうを集める】
「ついで」を歌おう。
どこまで「よびかけ」で、どこまで「こたえ」かな？
「よびかけ」と「こたえ」に分かれて歌ってみよう。

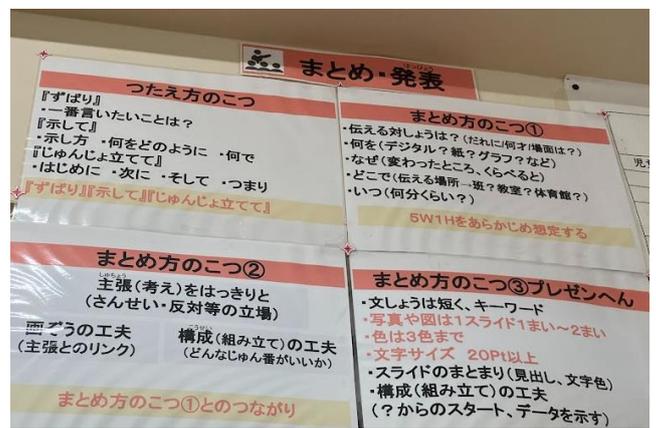
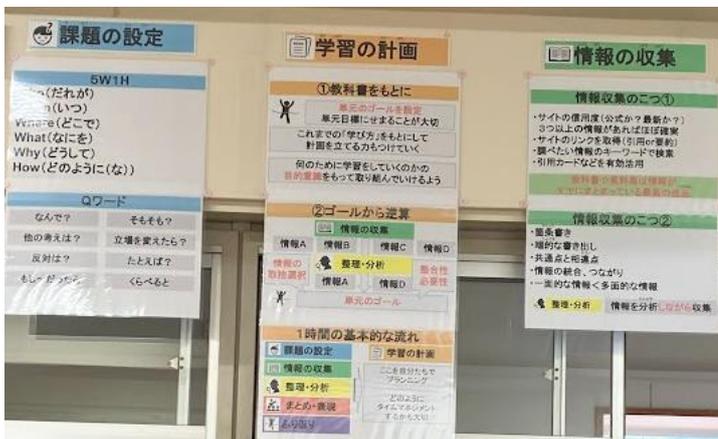


音楽もゴールと流れを提示、探究のサイクルでどの授業も行われている。整理分析の思考ツールが掲示。

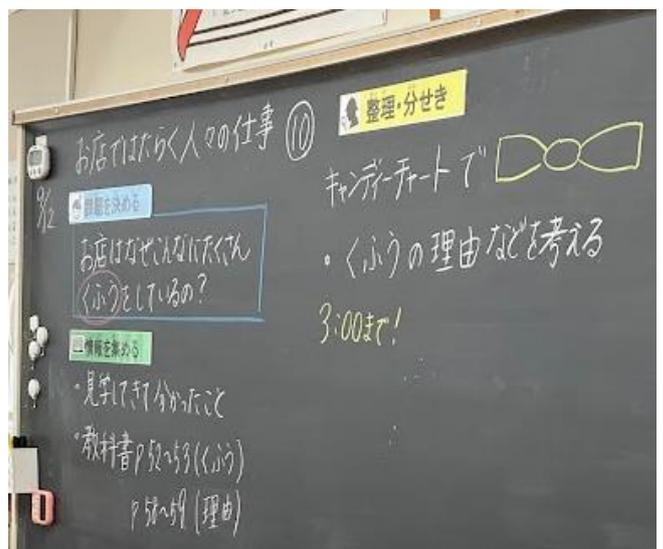


- 考えるときに使おう～南小思考スキル17条～ 中学年用 NO1
- ① どんな点かはっきりさせて
くらべる
 - ② 物事のかんけいをみる
 - ③ 時間ごとのきろくをみる
 - ④ 原いん、根きよ、
理由とむすびつける
 - ⑤ いろいろな点に目をつける
 - ⑥ 条件は、何か？条件をそろえる
 - ⑦ まよったときは消去法でえらぶ
 - ⑧ なかま分けをする
 - ⑨ なかま分けをして
見出しをつける
 - ⑩ 正しく公平にみる
 - ⑪ いろいろな立場からみる
 - ⑫ まとめてみる
 - ⑬ ベストではないが、
よりよいものえらぶ
 - ⑭ 「つまり」でまとめる
 - ⑮ 「たとえば」でくわしく
説明する
 - ⑯ 前に学んだ見方・
考え方をを使う
 - ⑰ 「もし～だったら」と考える

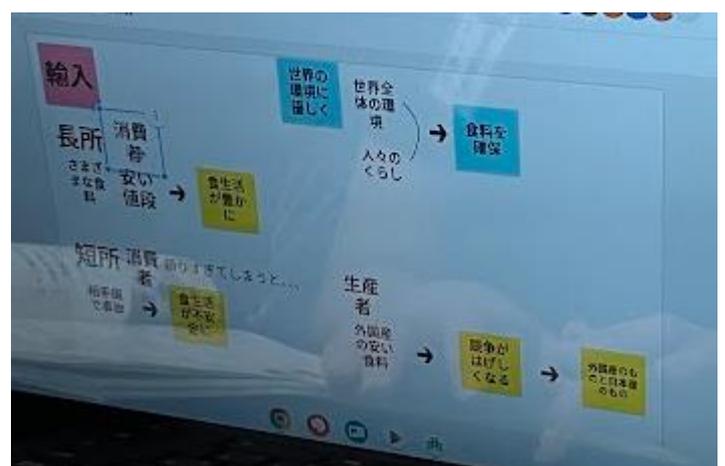
学習形態も自己選択、思考ツールありきではない、どの教科でも共通する思考スキル、シンキングレンズ大切



どの教室にも学年の実態にあった探究のサイクルにそった「学び方」を掲示。その都度、確認。自走可能に



板書に変化が！探究のサイクルに応じて学び方の確認、そして見方・考え方が提示。時間の設定もある。



5年生の社会科。情報の収集から整理・分析へ、白紙共有。みな同じジャムボード画面ではなく個別！この整理・分析が非常に大切！！今までの一斉授業では、情報の収集からまとめと整理・分析が吹っ飛ばされる傾向にあった。また、今までは先生が黒板に表やチャート図で児童の発言を聞きながら整理・分析を行っていた。情報の収集⇒まとめになると単なるコピペになってしまう。塩山南小の高学年は、爆速5分で20枚付箋をめざした情報収集をし、整理・分析を行っている。



【課題の設定】

- ・当時の主な戦国大名とその領地を確認する。
- ・めあてを設定する。

【情報の収集】 ★本日の社会科の見方・考え方【時代・背景】

- ・教科書P126・P127 → NHK for Schoolで情報を集める。
- 「応仁の乱」 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310054_00000
- ・集めた情報を短い言葉でふせんに書き出す。

https://jamboard.google.com/d/1Epw2M0biwl00bAen3YDPe8BtzV3bfp_I0XllqBKApbs/viewer

【整理・分析】

- ・必要に応じてチャートを選ぶ。
- ・ふせんを整理し、必要なことを書き足しながら分析する。

【まとめ・表現】

- ・アップデートタイム（友だちに今日の課題について説明する。）
- ・今日の学習をまとめます。

歴史では時代・背景の見方・考え方が大切。教科書は「最高の資料」→資料集→NHK for schoolへ KSN！



授業視察後の校内研 三井一希先生の指導助言、学習会。先生方も積極的にアウトプットをしている。

三井先生からの指導助言

- ・学習者主体の学び→児童が選択する場面、児童が一番忙しいか、児童同士が会話や文字により関わっているか これらについて端末を活用して、今日はどれくらい意識して授業できましたか？
- ・全国学力学習状況調査で「自分にあつた授業だと、学校に行くのが楽しい！」という結果に⇒子どものためにも個別最適な学びを進める必要がある！
- ・探究のサイクルは、小さいサイクルと大きなサイクル、情報の収集と整理分析が行き来することもあり、サイクル通りにならないこともある⇒柔軟性をもたせる
- ・整理・分析で思考ツールの活用や見方・考え方の視点を示すことが大切！探究のプロセスで授業をしているときは、今はこの段階だ！次はこれだ！と意識することが大事！
- ・思考ツールを使いこなしたい。まずは6種類！ベン図、Xチャート、コンセプトマップ、ボーン図、ピラミッドチャート、PMIシート。
- ・個別最適な学びを実現するために大事なこと⇒子供が選択する場面、クラウドで子ども同士のつながり、学びを深める教師の介入、追究しがいがある課題設定、子どもの学びを支援する手立て
- ・課題の作成のいち手法として単元はパフォーマンス課題で自分事に！毎時、ルーブリックも提示しゴールをつかませる。ルーブリックは学年の実態、内容に応じて柔軟に！ルーブリックを子どもにわたす！